

ぼうさい通信 Vol.60



毎月16日は「防災教育啓発の日」

令和4年11月16日発行
熊本県立湧心館高等学校

今月のテーマ 防災訓練の必要性

【避難訓練時、大人になるにつれ真剣になれないのは・・・】

訓練があることを予め知らされており、警報が鳴っても訓練だということで、緊張感が薄い状態で参加する人を見かけます。幼稚園や保育園、小学校低学年の子どもは純粋で、先生が真剣なら子ども達も真剣に避難訓練に挑みます。ですが、成長するにつれ、避難訓練は、しゃべりながらや気だるそうに行動してしまう風景を見かけることもあります。また、真剣にしようと思っても、周りから「何、訓練で必死になってんの？」と言われると、急に恥ずかしくなり、避難訓練を真剣に行なえなくなる人もいます。

ですが、学校や職場での避難訓練では、災害対応のプロの消防士等からのアドバイスを受けれるチャンスでもあるのです。普段では教えてもらうことができない避難行動を、実践形式で教わるチャンスだと捉え、実際の場面では、避難の際に一人で考えて行動せねばならないこともあり、集団で取り組む避難訓練が真剣であるほど、災害時には自分の命や身近な人の命を守る知識へと繋がっていきます。

【避難の時の合い言葉を知っていますか？】

●「おはし」とは

お：**お**さない
は：**は**しらない
し：**し**ゃべらない



pixta.jp - 6390715

10月29日(土)の夜に韓国のソウル繁華街の梨泰院路上でハロウィーンイベントに押し寄せた多数の人が転倒し、150人以上の死者が出た事故がおきました。災害と直接関係がある出来事ではないかもしれませんが、災害時同様に「慌てず」「押さず」を心がければ、ここまで大きな事故には繋がらなかったのかもしれない。

この「おはし」の合言葉は、1995年(平成7年)1月17日に発生した阪神淡路大震災を教訓に、その後、小学校低学年用に避難時の用語として作成され、やがて、教育指導ガイドラインに掲載され、全国の小学校で使われるようになりました。

●「おかしもすき」とは

お：人を**お**さない
か：慌てて**か**け出さない
し：先生の声**が**聞こえないから、**し**ゃべらない
も：危**な**いから**も**どらない
す：**す**ばやく動く
き：良**く**きく



現在の幼稚園や小学校低学年で習う避難時の合言葉で、「おはし」をそれぞれの地域で改良した「おはしもち」や「おかしも」などとして使用されています。本当の避難時には、これらの言葉に重要な内容を含んでいます。特に火災からの避難時には、姿勢を低くして、ハンカチなどで口と鼻を押さえて、しゃべることなく、慌てずに避難することが重要です。避難訓練は、そのことを学ぶ機会なのですが、大人になるにつれ訓練等でさえ、「おはし」を守られなくなってしまう悲しい現実があります。

過去のぼうさい通信を見ることができます ◎ぼうさい通信(毎月16日発行)

本校HPにアクセスしてみよう。 <https://sh.higo.ed.jp/yusinkan/>

くまもとマイタイムライン(デジタル版 マイタイムライン)は、

<https://portal.bousai.pref.kumamoto.jp/timeline/#/>で作成可能です。